

人生は、うまくいけば幸福、そうでなければ不幸と言えるほど単純なものではありません。勝ち組、負け組というも、簡単に評価できません。今日の聖書箇所には、絶望的な状況に置かれた人が出て来ます。この人々が、イエス様と出会い、新しく希望の人生を歩むようになりました。イエス様の前で、絶望はどんな意味を持つのかを確認しましょう。

1. 人間の限界と不可能は、間違った希望が崩れる絶望の時刻表

1) 不治の病と死ぬ病気

今日の聖書箇所に出て来る長血は不治の病であり、死ぬ病気も人間には不可能だという限界にぶつかるものです。

2) 多くの医者、可能な限りを尽くす、持ち物を使い果たし、-なんのかわいもなく、かえって悪くなる一方

努力しても、なにをしても、絶望の壁にぶつかるしかありません。

3) 絶望の壁-人間、見えるもの、この世-超えられない違う世界、違う問題

なぜ絶望の壁にぶつかるしかないのでしょうか。それは、いままで見えるもの、この世のことだけだったからです。絶望にぶつかるときは、まったく違う世界があることに気づくチャンスの時刻表です。それまでは、因果応報の考えや、見えることがすべてだと思っていました。絶望の壁にぶつかって、はじめて、霊的な世界に気づくようになります。そこで、本当の問題は、見ている問題とはち

がうのだと気づくのです。絶望は、そのような霊的な世界があることに気づくきっかけなのです。ほんとうの問題は、祝福の根源、いのちであり、光である神様から離れたことです。その罪によって、サタンに捕らわれ、のろいと地獄の運命にひっかかっています。絶望の壁にぶつかるとき、いままで握っていたことを手放して、罪の本性に気づくようになります。

2. 人間の限界と不可能は、真の希望の門が開かれる幸福の時刻表

今までの努力や知識、知恵は、まことの希望ではないと気づくとき、真の希望の門が開かれます。それが絶望の効果です。

1) イエス様の噂を耳に(イエスはキリスト)
絶望しているときに、イエスのうわさを聞きました。絶望していないなら、イエスのうわさを聞こうともしなかったでしょう。そこで、イエスがキリストだといううわさを聞きました。神様から離れ、悪魔に捕らわれ、地獄の運命の中を生きていた自分には、神様と出会い、悪魔の頭を踏み砕き、罪赦されて地獄から解放するために約束されたキリストが必要で、イエスこそ、そのキリストだと知ったのです。

2) 初めての気づき

-イエス様だけに希望があること
-今までの無駄な苦労だった

-イエス様を信じる信仰だけに希望があると気づいたのです。

3) “お着物に触ることでもできれば、きっと

直る。”

“娘の上に御手を置いてやってください。”

すべて無駄だったと気づいたあとの信仰告白の行動です。これも一つの方法だろうと選んだのではなく、本当の問題に気づいて、いままでのすべてが崩れたということです。イエス様の前では、絶望は、このような効果がある幸いなことなのです。

4) “あなたの信仰があなたを直したのです”
“恐れなくて、ただ信じていなさい。”

Only キリストという信仰が現れたので、イエス様からいのちの力が出て、長血はいやされました。会堂管理者には、イエス様が「ただ信じていなさい」と言われ、イエス・キリストを信じる信仰を貫きなさいと言われました。

絶望は間違った希望を崩し、まことの希望であるイエス様と出会い、信仰と結びつく幸いな時刻表です。壁にぶつからないと、自分が神となっています。

ため息の絶望を幸福の絶望に変えましょう。違う世界を認める機会にしましょう。Only キリスト、Only イエスの信仰の機会にしましょう。

暗闇が砕かれ、いのちの働きが始まります。キリストですべてが終わったこと、神様の御座が背景で、聖霊の力が約束され、イエスの証人として死んでいるたましいを助けることに気づくのが「いのち」です。これで十分で、これ以上悩む必要がないということで、「あなたがたは知らなくてもよい」と言われ「聖霊が臨まれるときに証人となる」と言われました。そこで、約束を握って、マルコの屋上の中で人々は集まって祈りに専念したのです。使徒 1:7-8 に立って、14 の祈りを通して 2:1-4 を体験しましょう。信仰生活は、ことばではなく、聖霊と力と強い確信によるものです。神様の力が現れるようになることを祈ります。

1 部-マルコ 5:25-34 幸いな絶望

なるほど/ 人間の限界と不可能は、間違った希望が崩れ、真の希望の扉が開かれる幸いな絶望の時刻表である。

ならば/ ため息の絶望を違う世界を見る機会とし、Only キリスト Only イエスの信仰に立って、聖霊の力で生きる新しい人生を始めよう。

2 部-ヨハネ 5:11-13 クリスチャンの根拠ある確信

なるほど/ やぐらの内容と方法と時刻表を知れば、私の中に福音のやぐらが建てられる。ならば/ やぐらの祝福に根拠に、正しい確信に立って、私を通していのちの光が放たれ、縛られた魂が帰ってくる祝福を味わおう。